

神奈川のお城めぐり3(おまけ編)

城めぐりの3回目、完になります。3回目はマイナーの城、すでに公園になっていて市民の憩いの場や遊び場になっています。城の雰囲気はしません。

7.早川城（城山公園、綾瀬市）

綾瀬市は地味な市です。藤沢市の北に位置し、大和市と海老名市に挟まれた内陸の農地が多い場所です。綾瀬市出身の有名人を調べるとさかなクン(小学校から綾瀬市、綾瀬西高等学校)がいました。内陸の海に面していない高校生が魚博士となり全国的に有名になった。

早川城が城の名前ですが、城山公園としてバス停があります。城の名残は無く、看板だけでした。自転車なら藤沢駅から1時間ぐらいで行けます。郊外の広い道路(歩道も広い)なので安心してサイクリングできる国道があります。

綾瀬までくると広い畑の向こうに雪景色の富士が裾野まで見えます。今日の昼は富士山を眺めながらプロテインバーとパック野菜ジュースを飲んでご機嫌でした。

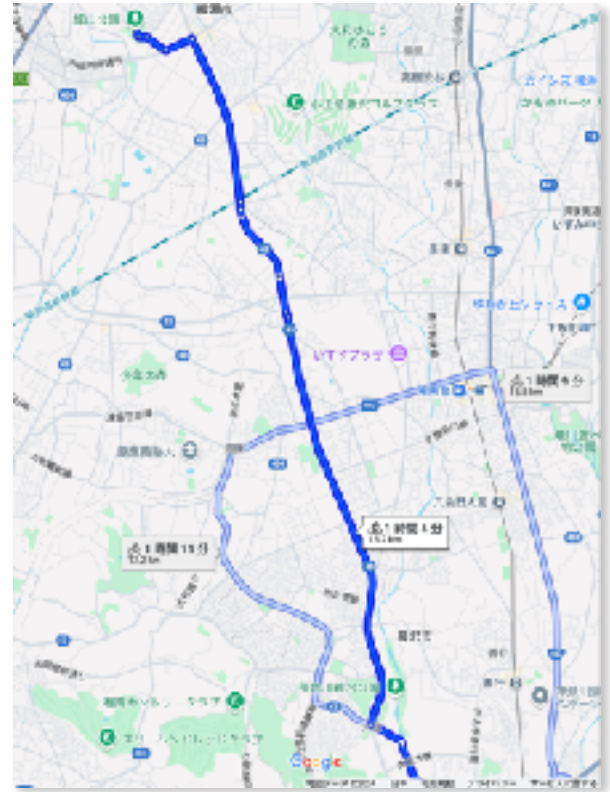


図1.藤沢駅から早川城まで17km



図2.早川城跡の説明がなければ、公園と勘違いしそう

●歴史

鎌倉時代の御家人・渋谷重国の築城と伝わるが、史料に乏しく実態は不明。(Wikipedia)

●アウトライン

城郭構造 山城

天守構造 なし

築城主 渋谷重国?

築城年 12世紀?、14世紀?、

主な城主 渋谷氏?

廃城年 15世紀?

遺構 曲輪、堀、土塁

指定文化財 県指定史跡(Wikipedia)

8.丸山城 (伊勢原市)

伊勢原市は平塚市の北に位置します。平塚市に住んでいたときは気軽に自転車で伊勢原の東海大学あたりまで自転車やマラソンをしていました。今住んでいる藤沢からはけっこう遠い。詳しい道は知らなくても、方角はわかるから、適当に自転車で移動し、目的地に近くなったら地図アプリでナビしてもらおう。先に太田道灌の墓がある大慈寺をお参りしてから丸山城公園に行くとする。遊具で遊ぶ子供たちがいる。ここがお城? かるうじて看板に説明書きがあった。

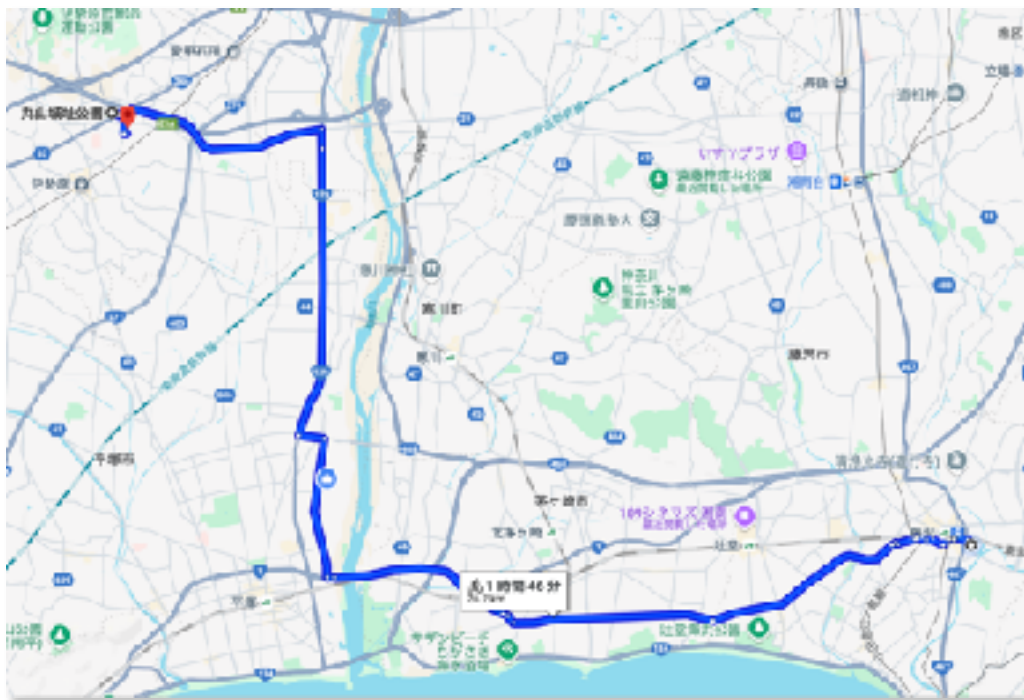


図3.伊勢原の丸山城跡まで30kmあまり。けっこう長い。



図4.本丸跡が芝生公園。気分がのらない。

●歴史

扇谷上杉氏が築いたと推測されています。武蔵七党のひとつ「横山党」の一族、糟屋氏の居館があった場所で、その後は伊豆から相模に進出した北条早雲に備えるために扇谷上杉氏が居館跡を改修して城を築いたと考えられています。太田道灌の最期の地である糟屋館もここであった可能性があります、たしかではありません。(Wikipedia)

●太田道灌の墓（大慈寺）

市内の洞昌院、大慈寺の二カ所に、江戸城・川越城等を築城したことで有名な太田道灌の墓があります。大慈寺は、太田家縁の寺とされ、市の指定文化財となっている道灌公の武者絵が残さ



図5.太田道灌の墓(右)が農地の真ん中にあった。

れています。小さな農地を流れる川に面して太田道灌の墓がある。かなり広く整備した区画でした。太田道灌は江戸城を設計した人として有名です。父が好きでよく話してくれました。鎌倉の妻の実家の扇ヶ谷に行く途中に英勝寺があります。ここに太田道灌首塚があります。どこが本物なのか？彼のように超有名人は黙っていても庶民が墓をつくって地元の観光に役立てている。

太田 道灌（おおた どうかん）は、室町時代後期に関東地方で活躍した武将。武蔵守護代・扇谷上杉家の家宰。摂津源氏の流れを汲む太田氏。諱は資長（すけなが）。

9.津久井城（相模原市）

津久井は遠い。小田急線の相模大野駅まで輪行とする。藤沢駅から急行に乗れば20分で相模大野駅に着く。大動脈の国道16号線に乗って長い相模原市を抜けて津久井方面に行く。藤沢市に住んでいると神奈川県は海に面していて湘南、江ノ島、鎌倉と青い湘南の海がイメージとある。ところが内陸の相模原市の人口(2024年に72万人)は神奈川では川崎機に次いで3番目である。しかし、海なんか見たこと無いと思います。神奈川県も小さいけど広い。国道16号線には実に多種多様な巨大店舗ありびっくりします。



図6.津久井城跡は相模大野駅から行く。

●歴史

倉時代に三浦党の筑井氏が築城したと伝えられている。大江（毛利）氏の津久井三郎の居館部と同八幡社付近に行政舎が整備され、詰の城として山頂部が築城されたと推測される。津久井城が本格的に使われ始めたのは、戦国時代の後北条氏の頃からとなる。この津久井の地は、甲斐と小田原を結ぶ要所であり、武田氏と後北条氏が鎬を削った場所である。

(Wikipedia)

●アウトライン

別名 筑井城

城郭構造 山城

天守構造 不明

築城主 筑井氏

築城年 鎌倉時代

主な改修者 津久井三郎

主な城主 筑井氏（津久井氏、築井氏）、相模内藤氏、後北条氏

廃城年 天正18年（1590年）

遺構 土塁、堀切、郭、土橋、虎口、石垣、石列(Wikipedia)



図7.城跡の高台から津久井湖を眺める。最高！

7.今月のなごみ 藤沢のモーガン邸のレバノン杉

藤沢の一遍上人が建立した遊行寺付近に洋館モーガン邸があった。残念ながら2007年5月、2008年1月と二度の火災で焼失しました。今は敷地内をNPOが管理している。

昭和6年（1931）に建てられた建築家J.H.モーガンの旧邸のことです。彼はUSAの建築家、招かれて日本で活躍した。日本人の女性と結婚して藤沢に新居を建て、横浜まで自動車通勤していた。

(USAの両親からみたら日本で有名になった放蕩息子)



図8.藤沢の旧モーガン邸の模型

広い庭に大きなレバノン杉がある。レバノンの国旗にある木がこの木です。何故レバノンの国旗にレバノン杉？それはキリスト教と関係しています。

■レバノン国旗の意味(ネットから)

赤は勇気と犠牲を、白は石灰質の多い国土と平和と純潔を表している。

中央はレバノン杉でキリスト教徒のシンボル。

この木でソロモンは神殿をつくり、フェニキア人は船をつくり、カルタゴに海洋植民地を築いた。



図9.藤沢の旧モーガン邸にある立派なレバノン杉

